

津市リーダー研修会の記事

他校の発表に刺激され、「取り入れたい」という生徒会役員の発言が取り上げられています。

脱炭素へ取り組み競う

市内の20中学 久居中 最優秀賞



脱炭素の取り組みについてオンラインで議論した中学生と森教育長(左)=津市教委庁舎で

津市内の中学生が身近な課題について議論や発表をする「津市中学生リーダー研修会」が9日、オンラインで開かれた。2023年度は二酸化炭素(CO₂)の排出量を減らす「脱炭素」について話し合っており、脱炭素について学べるかる

たやゲームづくりを提案した久居中が最優秀賞に選ばれた。研修会は市内全20校の生徒会役員らが集まる。この日は23年度4回目の最終回で、前回発表した学校ごとの取り組みを市教委が表彰した。受賞に、久居中2年の生

徒会長、西川莉玖さんは「脱炭素と楽しく関わる方法を知ってほしい」と思い提案した。後輩にも思いを共有していきたいと話した。優秀賞には橋北中と西橋内中、グッドアイデア賞には朝陽中と白山中が選ばれた。

生徒たちは24年度に取り組みたいことも発表した。白山中の生徒は、23年度に給食を完食したクラスを表彰する「残食ゼロウィーク」を設けたことを紹介し「意識を高めることができただので続けていきたい」と話した。西郊中の生徒は「西郊は市内でも残食率が高いので、白山中のゼロウィークを取り入れたい」と参考にしていった。

森教育長は「脱炭素は世界的な課題なので、みんなの考えが市の取り組みに生かされ、世界にも発信されたらうれしい」と期待を込めた。(寺岡葵)